



進路だより



茨城県立大子特別支援学校
働きがい推進部
令和7年6月9日
【 No. 1 】

新年度が始まり、2か月が経ちました。保護者の皆様には、日頃から本校の学習活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本年度も引き続き、進路だよりやホームページを通して、進路や将来についての情報、子どもたちの学習の様子をお伝えしていきます。

進路だよりが少しでも進路や将来について考えるきっかけとなるよう、保護者の方や子どもたちにとって、分かりやすいたよりをお届けしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、【キャリア教育】と【本校のキャリアパスポートの取り組み】についてお伝えします。

参考●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 特別支援教育リーフ Vol.13
障害のある子供へのキャリア教育

●発達障害のある子どもへのキャリア教育 キャリア発達と子どもの思い
弘前大学大学院教育学研究科教授 菊地一文



キャリア教育って…

体験的な学びを通して、一人一人の子どもが積み重ねてきた「自分らしさ」が生涯にわたって「自分らしい生き方」として実現することを目指す考え方。



子どもたちが日々体験すること、かかわる人、すべてがその人を育て、成長していくちからになります。体験の中で、できたこと・失敗したこと、役割を果たしたこと…様々な思いをもちながら経験を積み重ねていけるよう、今年も子どもたちと過ごしていきます。



本校のキャリアパスポートの取り組み

本校では、小学部から中学部を通じて、学習面・生活面・家庭面の3観点で目標を立て、学期ごとに振り返りを行います。また、ワークシートを活用して、体験学習ごとに事前・事後学習を行い、記録を積み重ねています。

今年度も、学校で学期ごとの目標決めや振り返りを行ったあと、ご家庭へ持ち帰り、家庭での目標を決めたり、振り返りをしたりする取り組みを一緒に行っていただきたいと思います。

保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、キャリアパスポートを通して学校と家庭が連携し、子どもたちの学びや成長の軌跡を積み重ねていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。